

## 第 11 回

### ワークライフバランスを感じる新人

受験生の皆さん、こんにちは。論文式試験お疲れ様です。  
去年の論文式試験に 7 年かけてなんとか合格いたしました J1 の M と申します。



私は公認会計士試験を始めたのが 30 歳ということもあり、契約社員やアルバイトとして働きながらの勉強だったため、勉強時間もなかなか確保できずとても大変でした。予備校の答練では最下位近くにいたこともあります。それでも諦めずやり続ければ必ず合格出来ますので、働きながらの方も専念されている方も合格を信じて勉強を頑張って下さい。

早速ですが、皆さんは就職をする上で何が最も重要と考えられていますか。給料、場所、労働時間、やりがいなど人により様々な考えがあると思います。その中で、私が就職活動時、特

に重要と考えていたのは労働時間つまりワークライフバランスです。アークでは特にワークライフバランスを重視しているとのことだったので私は迷いなくアークに就職致しました。そこで今回は、私が思うワークライフバランスの重要性、また実際アークではワークライフバランスを保っているのかをテーマに書いていこうと思います。

私は、公認会計士試験の勉強を始めるまでは地方で運送会社の正社員として配達ドライバーを約10年間勤めており、今でこそ振り返り笑って過ごしていますが、当時は辛い日々を過ごしていました。

何が辛かったかというと、まず就業開始時間が朝早く、就業終了時間が夜遅いことです。

基本的には1日12時間、繁忙期になると残

業を含め15時間以上も仕事をすることもあり、家に帰るとご飯を食べては寝るの繰り返しで趣味の時間ありませんでした。また、休みの日もそれだけ働くと、疲れ果てて休みの日は寝ていることが多かったと思います。



次に、休みの日でも仕事の連絡が来ることです。これは職種特有の話ですが、土日祝に関係なく仕事なので、1日に何度も会社から仕事の電話がかかってくることも有り休んだ気になりませんでした。

運送会社という極端な例ではございますが、私は就活をする際には上記の辛かった経験を可能な限り防止するため、ライフワークバランスを最重要項目と考え、他の監査法人よりもライフワークバランスを重視しているアークに入社することに決めました。

では、実際にアークで働いてみた結果、ワークライフバランスは保っているか。今現在、入社して9カ月ほど経ちましたが、この9カ月間繁忙期を含め自ら残業を希望した日以外は9時30分～17時30分の定時上がりでした（残業はトータルで約6時間）。また、残ってしまいそうな業務については先輩方のフォローがあり、結果としては完了しなかった業務自体も少なく休日に電話がかかってくるようなこともありませんでした。

た。そのおかげで、前職ではあまり出来なかった趣味を遠慮なく満喫しています。さらに、繁忙期には休日出勤をすることはあるのですが、その分振替休日となるので繁忙期後に大型連休を取得出来ます。結果としましては、しっかりとワークライフバランスを保っていると感じています。私と同じようにワークライフバランスを充実させたいと考えられている方は是非一度アークのイベントに参加して話を聞いてみてください。

今回はワークライフバランスの魅力について語らせていただきましたが、他にもアークには色々な魅力があります。自分の大事なモノを探しに是非アークにいらしてください。お待ちしております。